※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令５年度　工業科（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築計画	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『建築計画』（実教出版）						
副教材等	『建築計画演習ノート』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・建築計画では、建築の歴史的な変遷、建築と環境、建築設備、各種建築物の計画、都市企画などに関する知識と技術を習得します。
・まずは、基礎的な知識と技術の習得を目指し、安全で合理的な設計ができる能力の基礎を身につけるよう演習問題に取り組みながら学習していきましょう。
・各種建築物の計画では、習得した知識・技能をもとに、豊かな建築空間を安全性に十分配慮して合理的に計画できるよう学習していきます。「建築構造」や「建築製図」などの教科との関連を意識して学習することが大切です。
・家庭学習における課題では、ICT 機器を活用したレポート作成に取り組みましょう。
・授業中のノートやプリントについては、板書を書き写すだけでなく自身で気づいたこと等を記入し、理解を深める工夫をしていきましょう。

2　学習の到達目標

・建築の意義と、建築計画の位置づけや流れを理解させる。
・建築と環境、各種建築物の計画、都市計画、建築設備、建築の歴史的な変遷などの建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得させ、豊かな建築空間を安全性に十分配慮して、合理的に計画し、設計できる能力と態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築計画にかかわる基礎的・基本的な知識・技術や実験・実習を通して、設計者としての望ましい心構えや態度を身につけるとともに、建築計画の意義や役割を理解している。	建築計画にかかわる問題点や課題を建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、その解決策を的確に表現できる能力を身につけている。	建築物のつくり出される過程とのかかわりなどを理解するため、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	建築と環境の概要	環境の保全と建築物の快適性 環境の要素	a: 環境の要素と建築内を快適にする方法を理解している。	定期考査 演習ノート		
	屋外環境と室内環境	外部気候 都市の環境 室内気候	a: 気候、及び快適な室内気候の諸要素などの計算法を理解し、計算する技能を身につけている。 b: 気候、及び快適な室内気候の諸要素のグラフを読み取り計算できる。 c: 気候、及び快適な室内気候の諸要素について自身の環境と結び付けて考察することができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート
	換気と通風	室内の空気汚染 換気 通風	a: 快適な室内気候の諸要素、換気・通風のほか、通風方式や室内気候の数値、必要換気回数の計算方法などを理解し、計算する技能を身につけている。 b: 快適な室内気候の諸要素の表を読み取り、必要換気量・必要換気回数の計算ができる。 c: 快適な室内気候の諸要素、換気・通風について自身の環境と結び付けて考察することができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート
	伝熱と結露	熱貫流 蓄熱 結露	a:室内の生活環境を良好に保つための伝熱・結露や、結露防止・熱還流率の計算方法を身につけている。 b:熱還流率などの計算ができる・。結露防止などについてグラフを読み取り計算することができる。 c: 結露の防止につい考察することができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

1学期	日照と日射	日照と日影 日射 日照調整と日射熱の利用	a: 室内の生活環境を良好に保つための日照・日射を理解し、日影図の作成方法などを身につけている。 b:日照・日射や、日影図のグラフが読み取れる。 c:日照調整や日射熱の利用について考察し、新しいシステムなどを調べることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート(プリント) 振り返りシート
	採光と照明	人の視覚と光の量 採光 照明	a: 室内の生活環境を良好に保つための採光・照明を理解している。 b:採光・照明についてのグラフを読み取り、昼光率の計算ができる。 c: 室内の生活環境を良好に保つための採光・照明について自身の環境と結び付けて考察することができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート(プリント) 振り返りシート
2学期	色彩	色の表し方 色彩と心理	a: 室内の生活環境をよくするための色彩を理解し、色彩計画の進め方を身につけている。 b: 室内の生活環境をよくするための色彩計画ができる。 c: 室内の生活環境をよくするための色彩計画について自身の環境と結び付けて考察することができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート パフォーマンス課題	提出ノート(プリント) 振り返りシート
	音響	音の性質 遮音と吸音 騒音 音響設計	a: 室内の生活環境をよくするための音響を理解し、騒音防止・最適残響時間の計算方法を身につけている。 b:騒音防止・最適残響時間などについてグラフを読み取り計算ができる。 c: 室内の生活環境をよくするための音響について自身の環境と結び付けて考察することができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート(プリント) 振り返りシート
	住宅の意義	住宅の役割 住宅の種類 住宅の構成 住宅の性能	a:住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を理解している。	定期考査 演習ノート		

※令和４年度以降入学生用

２学期	住宅計画の進め方	計画の役割 建築計画の順序 住宅の企画 住宅の計画	a: 住宅の計画の進め方のほか、計画上の特質などを理解している。	定期考査 演習ノート		
	全体計画	敷地計画 配置計画 平面計画 立面・断面計画 構造・設備計画 デザイン・色彩計画	a: 独立住宅の敷地、配置、平面、立面・断面、構造・設備、デザイン・色彩などの計画にあたっての留意事項をはじめ、設計への具体化などを理解している。 b: 独立住宅の敷地、配置、平面、立面・断面、構造・設備、デザイン・色彩などの計画ができる。 c: 独立住宅の敷地、配置、平面、立面・断面、構造・設備、デザイン・色彩の計画について考察し、自分の考えをまとめることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート パフォーマンス課題
	各部の計画	家族の共同的な空間 個人の生活空間 その他の空間	a: 独立住宅の各室の形式・形態、適正な規模、設備などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法などを理解している。 b: 独立住宅の各室の形式・形態、適正な規模、設備などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画ができる。 c:さまざまな条件に対応した各室の計画について考察し、自分の考えをまとめることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート パフォーマンス課題
	集合住宅の計画	集合住宅の意義 全体計画 各部の計画 避難・消防のための計画	a: 集合住宅の役割・種類をはじめ、計画上の特質、計画にあたっての留意事項、設計への具体化などを理解し、各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法を身につけている。 b: 集合住宅の計画やエスキスができる。 c: 各部の計画や避難・防災計画について考察し、自分の考えをまとめることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

	事務所の計画	事務所の意義 全体計画 各部の計画 防災・避難計画	a: 事務所の役割・種類をはじめ、計画上の特質、計画にあたっての留意事項、設計への具体化などを理解し、各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法を身につけている。 b: 事務所の計画やエスキスができる。 c: 各部の計画や避難・防災計画について考察し、自分の考えをまとめることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート パフォーマンス課題
	小学校の計画	小学校の意義 全体計画 各部の計画 防災避難計画	a: 小学校の役割・種類をはじめ、計画上の特質、計画にあたっての留意事項、設計への具体化などを理解し、各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法を身につけている。 b: 小学校の計画やエスキスができる。 c: 各部の計画や避難・防災計画について考察し、自分の考えをまとめることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート パフォーマンス課題
3学期	近代の建築	ヨーロッパの近代建築 アメリカの近代建築 日本の近代建築	a:産業革命以後の西洋および日本における近代建築の作り出されてきた過程などをはじめ、近代建築がどのような変遷をとげたのかなどを理解している。 b: 産業革命以後の西洋および日本における近代建築の特徴を調べることができる。 c:代表的な近代建築について調べ、まとめることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

	現代の建築	世界の現代建築 日本の現代建築	a:戦後の世界および日本における建築物の発展過程をはじめ、現代の建築は、どのような要求と必然性から生み出されてきたのかなどを理解している。 b: 戦後の世界および日本における現代建築の特徴を調べることができる。 c:代表的な現代建築について調べ、まとめることができる。	定期考査 演習ノート	定期考査 演習ノート	提出ノート (プリント) 振り返りシート パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度